

## 国際宇宙ステーションを見てみませんか？

石井貴子（京都大学 花山天文台）

2008年11月19日の夕方、花山天文台の職員の皆で本館前広場で国際宇宙ステーション(International Space Station: ISS)を見ました。

地上から約400km上空に建設中の国際宇宙ステーション(ISS)は、地球の周りを1周約90分という速さで回っています。ISSは、条件が揃えば、夕方と明け方に地上から肉眼でも見ることができます。

11月19日は、京都(関西)で夕方18時過ぎに、条件が良く観察できる日でした。18時3分ごろ南西のやや低いところに赤めの点が見え始め、南に向かって高度をあげて移動するうち、だんだん明るさが増していき、かなり高度が高くなった(70度ぐらい)ころには綺麗なオレンジ色で木星ぐらいの明るさに感じられました。見え始めから5分ほどで東の方まで移動し、そのころには明るさも暗くなっていき、やがて見えなくなりました。

地上では日が沈んでいて暗いけれど、ISSには日が当たっているという条件の時に観察できるので、夕方(日没後2時間ぐらい)と明け方(日の出前2時間ぐらい)に見えるということになります。その時のISSの軌道によって、見える地域や見やすい(ISSの高度が高い)地域があります。ISSが、いつ、どの方角に見えるかという情報はJAXAのホームページ[1]に掲載されています。

花山天文台の一般公開の日の夕方にも観察できる条件の日だったので、一部の参加者の方には本館前広場でご覧頂けたそうです。お住まいの地域で観察しやすい日に天気が良さそうでしたら、誘いあって皆さんで見ると楽しいのではないかと思います。



写真：花山天文台別館ドームとISS  
(2008.11.19, Olympus CAMEDIA C-2100,  
露出16秒, 撮影：仲谷善一)

### 参考文献

[1] <http://kibo.tksc.jaxa.jp/>